



2023年12月28日

各 位

会社名 株式会社 銚子丸
代表者名 代表取締役社長 石田 満
(東証スタンダード・コード3075)
問合せ先 取締役管理本部長 仁科 善生
電 話 0 4 3 - 3 5 0 - 1 2 6 6

2024年5月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年9月28日付にて公表した2024年5月期（2023年5月16日～2024年5月15日）の第2四半期業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また当社は、2023年12月28日開催の取締役会において、2023年9月28日付にて公表した2024年5月期（2023年5月16日～2024年5月15日）の通期業績予想の修正を決議しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2024年5月期 第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異
(2023年5月16日～2023年11月15日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,232	673	679	421	30円78銭
実績値 (B)	10,172	910	921	572	41円80銭
増減額 (B-A)	△59	236	242	150	—
増減率 (%)	△0.6%	35.1%	35.7%	35.8%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年5月期第2四半期)	8,816	36	177	140	10円25銭

2. 差異の生じた理由

売上高は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行等に伴い、イートイン客数が急回復し、一方で改定後の価格が着実にお客様に受け入れられたこと等により予想並みに推移しました。

利益面につきましては、価格改定やフルオーダー化に伴う廃棄ロス減少等による原価率の低下が予想を上回ったことに加えて、コロナ下に推進してきた機械化・省力化等による利益体質の改善努力が奏功し、第2四半期累計期間の業績予想を上回りました。

3. 2024年5月期通期業績予想の修正

(2023年5月16日～2024年5月15日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,115	1,131	1,143	696	50円81銭
今回修正予想 (B)	21,115	1,367	1,386	846	61円83銭
増減額 (B - A)	0	236	242	150	—
増減率 (%)	0.0%	20.9%	21.2%	21.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2023年5月期)	19,310	669	794	558	40円75銭

4. 修正の理由

第3四半期以降も、価格改定やフルオーダー化に伴う廃棄ロス減少等による原価率の低下、及びコロナ下に推進してきた機械化・省力化等による利益体質の改善努力によって、利益の増加が見込まれます。

一方で、これまで抑制的に対応してきた店舗内装や設備・備品について、2024年1月～3月にかけて集中的な更新を予定しているほか、2023年10月の最低賃金引上げを背景とする時給改定に伴う人件費の上昇等によって、販売費及び一般管理費の大幅な増加が見込まれることから、第2四半期累計期間までの実績に、下半期の従来予想を据え置いて修正するものであります。

(注) 業績の詳細につきましては、本日公表の「2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照ください。なお、本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上